

複合形レジャー施設管理システム

佐藤 清之(さとう きよゆき)

青山 清仁(あおやま きよひと)

荒井 正英(あらい まさひで)

1 まえがき

クアハウス〔(財)日本健康開発財団の登録商標〕とは厚生大臣の認定する温泉利用型健康増進施設であり、施設内には温泉ゾーン、トレーニングジム、健康管理室を設置し、また宿泊施設もある。

最近のレジャーブームの高まりと健康に対する意識向上が、このような施設へのニーズとして高度のサービスと低料金化に拍車をかけている。

これらのニーズを踏まえ、クアハウス勝浦パークランドのコンセプトは、「時代にマッチし、時代を先取りした施設展開のために、絶えず変貌しつづける」である。

クアハウス勝浦パークランドでは、施設の充実もさることながら運営業務の合理化が必要不可欠であり、限られた人員で最大限の顧客サービスをするためにも業務のシステム化、コンピュータ化は絶対条件である。

富士電機はクアハウス勝浦パークランドを効率良く運営管理するために、パーソナルコンピュータ（パソコン）LAN（Local Area Network）を利用したシステムを納入した。

クアハウス勝浦パークランドの外観を図1に示す。

以下、本システムの概要を紹介する。

2 システム化の狙い

クアハウス勝浦パークランドは複合形施設（クアハウス、ホテル、レストラン）であるために、次のような問題がある。

- (1) 売上情報集計業務のロス
- (2) 顧客サービスの低下
- (3) 冷蔵庫・電話使用料金の精算ミス

これらの問題を回避するために各施設の管理コンピュータをLANで結びスピーディな精算業務、事務処理の効率化・標準化を目的とし情報の一本化を図るとともに、以下を狙いとした業務のシステム化を行った。

- (1) 売上情報集計業務の自動集計
- (2) 業務の合理化により顧客サービスの強化

図1 クアハウス勝浦パークランドの外観



NS9-2151-1

- (3) 冷蔵庫・電話使用料金の自動課金

3 システムの概要

本システムはホテル機能、事務所機能、レストラン機能、クアハウス機能の四つに大別される。

- (1) ホテル機能は、予約受付、日別・月別予約状況、予約台帳を管理する予約管理、チェックイン、伝票処理入力、請求書・領収書発行、チェックアウト、日次更新処理を管理するフロント会計管理、および冷蔵庫・電話使用料金を管理するオプション管理から構成される。
- (2) 事務所機能は顧客登録、顧客台帳、ダイレクトメール用ラベル発行を管理する顧客管理から構成される。
- (3) レストラン機能は厨房（ちゅうぼう）への伝票、顧客伝票、飲食データを管理するレストラン管理から構成される。
- (4) クアハウス機能は入館売上げを管理するクアハウス管理から構成される。

4 システム構成

本システムはサーバ専用コンピュータ、ホテル管理コン



佐藤 清之

クアハウス勝浦パークランド副社長。



青山 清仁

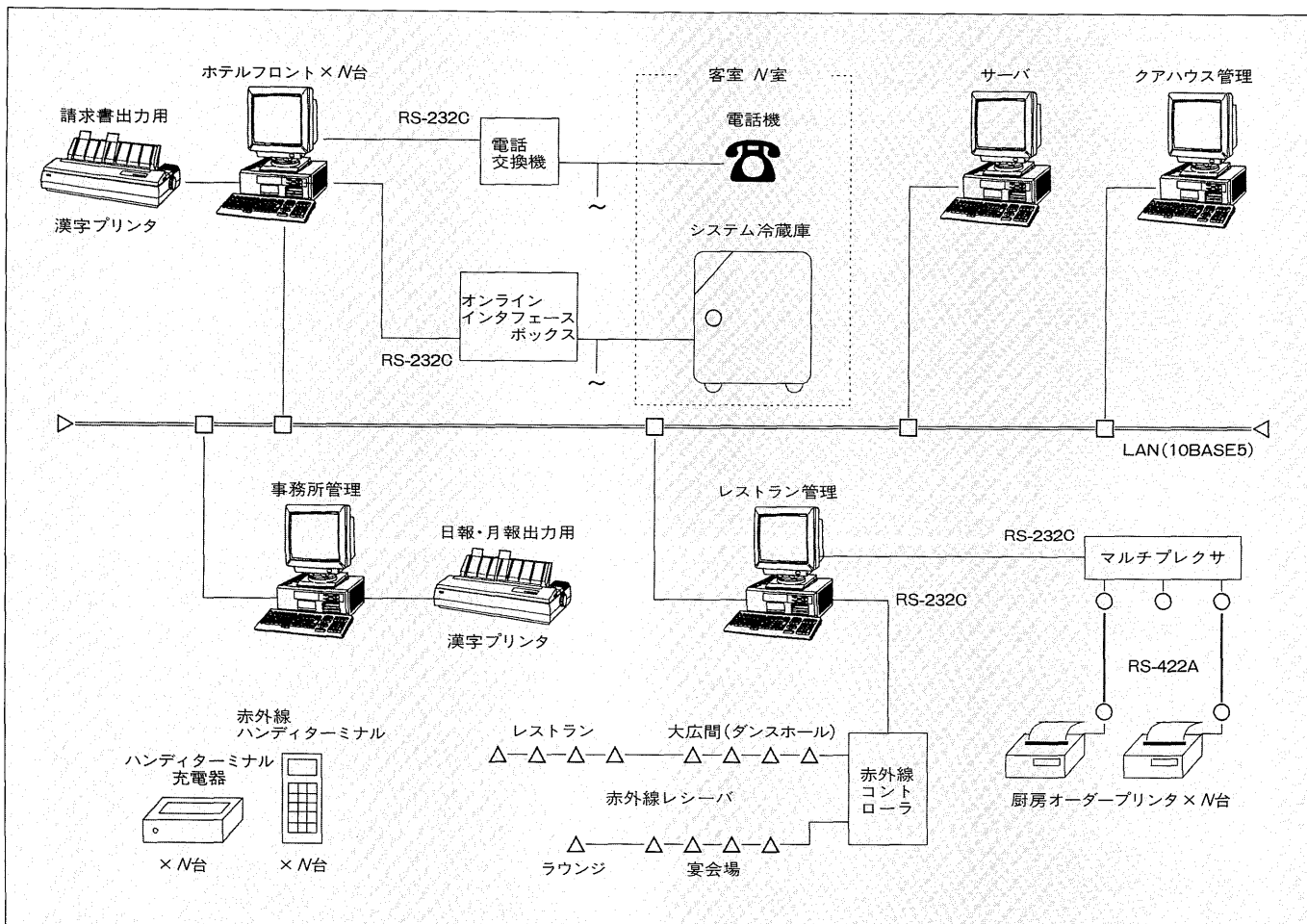
昭和57年入社。ホテルベンダシステムおよびオンラインシステムの開発に従事。現在、富士電機テクノエンジニアリング(株)営業本部システム営業部専任課長。



荒井 正英

平成元年入社。中小FAシステムの開発、拡販に従事。現在、富士電機テクノエンジニアリング(株)営業本部システム営業部。

図2 システム構成



ピュータ、事務所管理コンピュータ、レストラン管理コンピュータから構成されている。

これらのコンピュータはLANで統合され、情報の共有化を可能としている。

システム構成を図2に示す。

5 機能

5.1 ホテル管理

(1) 予約管理

顧客から発生する予約客情報に基づき、客室の正確な残室状況チェックおよび効率的な販売を行う。

(2) フロント会計管理

ホテル業務での情報に基づき、売上集計処理や領収書の発行を行う。

(3) オプション管理

客室設備の管理や各種制御システムとの情報交換にネットワークを利用してホテル全体の管理を行う。

5.2 事務所管理

(1) 顧客管理

予約、宴会、レストランなどの利用客から得た顧客情報をもとに予約時に顧客情報、販売・促進計画のサポートを可能にする。

5.3 レストラン管理

顧客からの注文と厨房へのオーダーをハンディターミナルで遠隔伝送し、自動化と業務の合理化を可能にする。

5.4 クアハウス管理

入館・退館処理をクアハウス業務での情報に基づき、売上集計処理や領収書の発行を行う。

6 あとがき

以上、複合形施設（クアハウス、ホテル、レストラン）のトータルサポートシステムの概要を紹介した。

今後も、今まで培ってきた技術と経験をもとに、施設にマッチしたシステム構築を進めていく所存である。

最後に、本システムの導入において多大なるご指導、ご協力をいただいた設計会社ならびに施工会社の関係各位に厚くお礼を申し上げます。次第である。



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。